

公立はこだて未来大学 地域交流フォーラム

～研究発表会・産学官連携講演会～

日時 平成20年10月31日(金) 13:00-17:00

場所 **ベルクラシック函館** 函館市梁川町4番11号
TEL 0120-84-3390

参加費 無料

主催 情報系大学が関わる函館地域産学官連携推進実行委員会
(参加機関:公立大学法人公立はこだて未来大学、函館市、函館市商工会議所、
北海道中小企業家同友会函館支部、函館市亀田商工会)



プログラム

開会あいさつ

13:00-13:10 公立大学法人 公立はこだて未来大学 理事長 中島 秀之

第1部 招待講演

13:10-14:00

「新産学連携スタイル《仙台堀切川モデル》の概要 -産学官連携による新しい地域産業の創出を目指して-」
東北大学大学院 教授 堀切川 一男

短期間に多数の地域産学官連携の成功事例を生み出した、仙台地域での堀切川教授の取り組みは、近年全国から「仙台堀切川モデル」として注目を集めています。その取り組みについてお話しいただきます。

第2部 公立はこだて未来大学 研究発表会

- 14:00-14:15 「経済実験による社会・経済制度設計」 准教授 川越 敏司
- 14:15-14:30 「最近のネットワーク科学の発展について」 講師 Jose Nacher (ホセ・ナチエル)
- 14:30-14:45 「生活空間で利用する画像処理」 准教授 長崎 健
- 14:45-15:00 「地域デジタルアーカイブ構築のための画像処理技術」 教授 川嶋 稔夫
- 15:00-15:15 「産地からの情報発信をサポートするインターネット技術」
共同研究センター長/教授 三上 貞芳
- 15:15-15:30 「情報デザインによる医療支援システム構築」 副理事長/教授 岩田 州夫

第3部 意見交換会・ポスターセッション

15:30-17:00

講師プロフィール

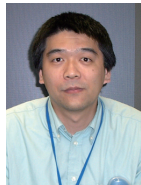


堀切川 一男 (ほつきりがわ かずお)

東北大学大学院 教授

1984年東北大学大学院工学研究科機械工学専攻博士後期課程修了。工学博士。東北大学工学部助手、講師、助教授、山形大学工学部助教授を経て、2001年6月より東北大学大学院工学研究科教授、現在に至る。これまで、摩耗形態図による摩耗理論の体系化に関する研究、長野五輪日本チーム用低摩擦ボスレーランナーの開発、米ぬかを原料とする硬質多孔性炭素材料「RBセラミックス」の開発などに取り組み、産学連携により製品化した開発品は30以上に上る。科学技術政策担当大臣賞(産学官連携功労者表彰)、文部科学大臣賞(科学技術振興功績者表彰)ほか受賞歴多数。モットーは、地域に根差し世界を目指す研究、夢の実現を目指す研究。

経済実験による社会・経済制度設計



川越 敏司

複雑系科学科 准教授

社会・経済制度を実施前に実験室で比較検討する手法が実験経済学です。欧米では、マーケット・デザインと称して、新しいオークションや市場制度の比較検討が行なわれ、日本でも排出権売買制度や入札談合を巡って研究がなされてきました。実験経済学による入札制度改革やカルテル防止策に関する研究成果についてお話しします。

最近のネットワーク科学の発展について



Jose Nacher (ホセ・ナチエル)

複雑系科学科 講師

ネットワークの科学は、科学技術のネットワークから生物システムまで、多様な分野の発展に有望な道具を提供しています。私はなかでも、薬剤-療法の相互作用ネットワーク、タンパク質の相互作用ネットワークや遺伝子発現などの研究に取り組んでいます。ネットワーク分析や数理モデル化に関する最近の我々の成果を紹介いたします。

生活空間で利用する画像処理



長崎 健

情報アーキテクチャ学科 准教授

コンピュータの小型・高性能化により、画像処理技術を利用した機器が、生活空間でも利用されるようになってきました。そのため私の研究室では、日常生活空間で利用しやすいアルゴリズムの検討とその応用、小型の携帯機器における組み込みプロセッサのアルゴリズムの検討などに取り組んでいます。こうした動向についてお話しします。

地域デジタルアーカイブ構築のための画像処理技術



川嶋 稔夫

情報アーキテクチャ学科 教授

地域デジタルアーカイブとは、地域の文化、美術、風俗、歴史、環境などにかかわる記録を、デジタル技術を用いて記録保存し、多面的に活用する営みをさしています。今回は、超高精細な美術品の記録や、古文書を文字認識せずに検索する手法などを中心に、デジタルアーカイブ技術開発の成果について報告します。

産地からの情報発信をサポートするインターネット技術



三上 貞芳

共同研究センター長/情報アーキテクチャ学科 教授

食の安全安心やブランド化の重要性の高まりから、産地が自らの力で情報発信する努力が今まで以上に求められ、また効果を発揮する時代が訪れています。最新の Web 技術を活用し、産地の現場や流通などの特性を考慮した、情報発信ツールやトレーサビリティシステムの開発・実用化を進める本学の取り組みを紹介いたします。

情報デザインによる医療支援システム構築



岩田 州夫

副理事長/情報アーキテクチャ学科 教授

高齢者世帯や高齢在宅療養患者の人たちを支援するために、患者と医師や看護師・患者の家族を結ぶ情報システム構築に取り組んでいます。2011 年より全面導入される地上波デジタル放送の受信機に端末機能があることに注目し、コンピュータなど新たな機器の導入なしに、誰でも容易に使えるシステムの実現をめざしています。

お問い合わせ先・ 申し込み先

公立はこだて未来大学共同研究センター 〒041-8655 函館市亀田中野町116番地2
TEL 0138-34-6411 FAX 0138-34-6564
E-mail center-ml@fun.ac.jp
お申し込みはファックスまたはメールにて、「所属・氏名・役職・電話・E-mail」を明記の上、
上記連絡先までお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

地域交流フォーラム 参加申込書

公立はこだて未来大学共同研究センター行 FAX 0138-34-6564

所属		電話
氏名	役職	E-mail